

道路附属物等個別施設計画

○対象施設: 下記一覧のとおり

○計画期間: 令和4年度から令和8年度

○基本方針: 道路附属物等の老朽化対策を確実に進めるために、現場点検、診断、今後の対応方針、記録という流れで、メンテナンスを構築する。

○対策の優先順位と考え方: 点検結果に基づき、道路附属物等の健全性のほか、路線の重要度などを総合的に勘案して決定する。

○対策内容と実施時期: 下記一覧のとおり。なお、定期点検の効率化や高度化、修繕措置の省略化や費用縮減を図るために点検や対策における新技術等の活用を検討する。

○対策費用: 下記一覧のとおり。なお、利用状況等の変化に応じた施設の適切な配置のため、道路附属物等の集約化・撤去、機能縮小などによる対策費用の縮減を地元の意見を踏まえながら検討する。

※修繕計画については、点検結果や予算措置状況等により見直すことがあります。

施設名	路線名	所在地	建設年度	橋長 (m)	幅員 (m)	点検計画					判定 区分	点検 実施 時期	修繕計画					対策後 区分	修繕 実施 時期	修繕内容	対策費用 (百万円)
						R4	R5	R6	R7	R8			R4	R5	R6	R7	R8				
ハイタウン北方前横断歩道橋	町道400号線	北方	不明	16.2	1.5	○					II			○				II		点検結果による	同左
校南歩道橋	町道10号線	北方	1983年	11.7	1.5					○	III	R3	○	○				III	R5	塗装塗替等	25
門型標識1	町道4号線	北方	不明	=	9.5						III	R2						-	R3	老朽化に伴い撤去	3
門型標識3	町道1号線	北方	不明	-	6.0	○					II			○				II		点検結果による	同左